

地域施設での花育活動 「園芸で元気いっぱい」

作成者：グリーンアドバイザー 中道 光子

- 対象者・人数：10名程度
- 所要時間：45分
- 対象場所：介護老人保健施設マイウェイ四谷 地域交流スペース
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、アシスタント1名
- 協力：介護老人保健施設マイウェイ四谷



■ 資材

- ・底面給水鉢 5号 1鉢
- ・培養土 0.5リットル
- ・肥料 少々
- ・土入れ 1個
- ・土を入れる容器 1個
(1人分ずつの土を分けておくための容器)
- ・水やり用ペットボトル (小) 1個

※底面給水鉢の説明はP.55参照



底面吸水鉢



水やり用ペットボトル・土入れ

■ 花材

- ・ビオラ 3.5号 1ポット
- ・スイートアリッサム 3.5号 1ポット



スイートアリッサム ビオラ

【指導内容と目的】

- ・自分が植えた花苗が生長して美しく花を咲かせることの楽しみ、喜びや花のある空間の美しさを感じてほしい。
- ・植物が美しく花を咲かせるには、日々の管理が大切で、水やりなど継続的な作業を行うことの責任感、持続性を身につけてほしい。
- ・花を育てる機会を通して仲間との会話を楽しみ、コミュニケーションを育む場とする。
- ・土や植物を触り、自然の暖かさ、力強さなど感じてほしい。
- ・季節の植物を通じて、四季折々の変化を感じ取ってほしい。

【対象者への配慮】**<安全面の配慮>**

- ・植物の中には、有害なものもあるので、植物、土など絶対口に入れない様に注意する。作業後は必ず手を洗うこと。
- ・ハサミを使用するときは、刃先が丸くなっているものを使用する。
手の力が無くハサミを使用することが困難な場合は、施設のスタッフやアシスタントが必ず付き添い補助をする。

<作業時の配慮>

- ・当日、施設管理者との打ち合わせを行い、参加者の体調や可能な作業を確認すること。
- ・耳が不自由な方には、耳元ではっきりとゆっくり話す。
- ・手の不自由な方には、イスに座る向き（右向きか左向きか）や位置などを確認してから作業に入る
- ・誤飲などが心配される方には、特に注意をはらい必ず施設のスタッフやアシスタントが付き添うこと。
- ・花や植物に興味を持ってもらえるように、全員に目配りして全員と会話をすること。
- ・出来上がった作品は、時間が許す限り一人一人の作品を見ながら良い点などを伝えること。

1.指導計画・スケジュール

<年間スケジュール案>

1月	室内での作業	底面給水の鉢に葉野菜の種を蒔き
2月		押し花で名札、コースター作り
3月		ジャガイモの植え付け
4月		コンテナに季節の花の植え付け
5月		夏野菜の植え付け（なす、トマト、ピーマン、オクラ等）
6月		フウセンカズラ、タデ藍の種まき
7月		ジャガイモの収穫、野菜の収穫
8月		藍の生葉染め
9月		コンテナに季節の花の植え替え
10月		芝ボーヤ作り
11月		クリスマスリース作り
12月		お正月の寄せ植え

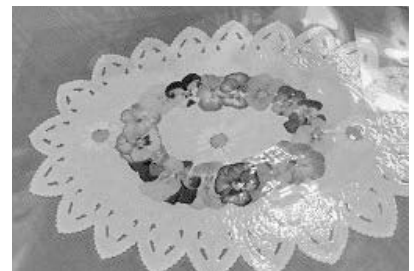
※室内での作業とするが、春、秋など気候がよく、風のないとき等は、室外での作業にして外の空気を感ずるようにする。



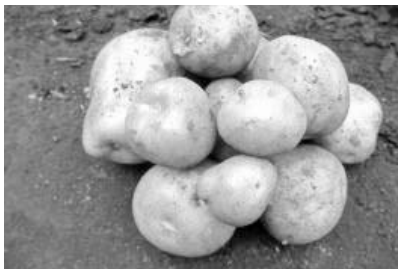
底面給水の鉢



押し花で名札作り



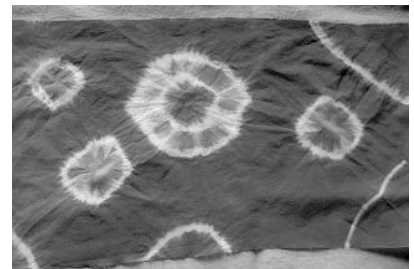
押し花でコースター作り



じゃがいもの植え付け



季節の花の寄せ植え



藍の生葉染め



フウセンカズラの種まき



芝ボーヤ作り



クリスマスリース

2. 事前の準備

- ・花苗のポットには、大きな字で花の名前を書く
(黒ポットなら白いマジックで書く)
- ・土は少し深めの容器に一人分ずつ入れる
- ・土入れを用意する
- ・机の上には大きめのトレーか、45ℓのゴミ袋を敷きその上で作業をする
(終了時にごみ袋ごと丸めると簡単に片づけることができる)



3. 当日の流れ

- ・時 間 (所要時間) : 45分
- 12:30 集合 準備
- 13:30 自己紹介 (今日行う簡単な説明)
- 13:35 頭と手の体操
- 13:40 花苗、鉢などの説明をしてから植えつけ
- 14:00 出来上がった作品を一人一人観賞する (必ず一人一人に感想を話す)
- 14:15 終了
- 片づけ
- 反省会



・具体的な手順

- ①作業をする前に体を動かす準備体操として、手を開いたり閉じたりしながらジャンケンをする
ると手や頭の運動となる。これから作業をという気持ちを高める。



- ②底面吸水鉢は、上下分かれることを確認し、下の鉢から水を吸水することを確認する
(垂れ下がっているヒモから水を吸水する)

※容器の底に貯めた水を吸水ひもで吸い上げ、
土に水を与える栽培方法。

通気性、保水性に優れ植物の生育に最適な環境
が作れる。水やりの回数も減り、水ぎれで
植物が枯死することが防げる。



- ③鉢の中に培養土を少し入れる

(ポットに花苗を入れて根鉢の上部が鉢のふちから2cm位下にくるところまで花苗の下に土
を入れる)



④パンジー、ビオラ等は、苗の根が伸びすぎて根鉢が真っ白になっていることがあるのでその場合は、白い根を取り除いてから植える。

パンジーやビオラは、丈夫な植物で根を切ったりしてもすぐ回復する。

1週間ぐらいで新しい根が発根する。



⑤根鉢の周りに土を入れる。

花や葉に土がかからない様に植物を手で寄せて土を入れる。

細い割り箸などで、周りの土をついて隅々まで入れる。

⑥上下をセットし、一番最初は上から水を与え下の鉢に水が出るのを確認する。

⑦下の鉢の窓から確かめながら、下の鉢にも水を入れる。

・指導ポイント

- ・必ずウォータースペースを考えて植える。
- ・パンジー、ビオラは根を崩してから植える方が良い。
- ・根鉢の周りに隙間なく土を入れる。
- ・底面給水鉢は、時々上から水を流れ出るくらい与えて、老廃物を洗い流す。

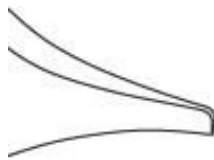
<底面吸水鉢の説明>

水やり減らして
おさぼり給水。

底面給水機能付きのインテリア用ミニポット。



植え込み部を持ち上げ、
水さしなどで貯水部に
水を注ぎます。



持ち上げやすい
植え込み用容器
片手で簡単に持ち上げる
ことができるので、給水
がラクにできます。

段付きスリット排水穴
通気性と排水性を高めます。

給水ヒモ
吸水性に優れているので
地表部までしっかり水が
行き渡ります。

貯水用容器

たっぷり水を溜めておく
ことができ、水やりの回
数を削減できます。

貯水量が見える窓付き

貯水部の残量が一目でわ
かります。常に見えるの
で給水し忘れ防止にも役
立ちます。

こんなに水やりがラクになります！

	通常水やり		底面給水鉢
ミニバラ	4日に1回	➡	14日に1回
ドラセナ	7日に1回	➡	28日に1回

おおよそ 1/3 ~ 1/4 の回数でOK!

※植物の種類や気温など生育条件によって異なります。

